平成24年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年12月20日

上場会社名　株式会社 ツルハホールディングス　　上場取引所　東
コード番号　3391　URL　http://www.tsuruha-hd.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 鶴羽　樹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員　管理本部長　(氏名) 大船　正博　TEL 011-783-2755

四半期報告書提出予定日　平成24年1月4日　配当支払開始予定日　平成24年1月16日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第2四半期の連結業績(平成23年5月16日～平成23年11月15日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第2四半期	161,228	6.4	9,661	18.5	10,097	18.3	5,515	24.2
23年5月期第2四半期	151,544	7.1	8,154	9.8	8,535	9.6	4,441	6.9

(注)包括利益　24年5月期第2四半期　5,568百万円　(30.1%)　23年5月期第2四半期　4,278百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第2四半期	233.33	232.34
23年5月期第2四半期	187.38	187.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年5月期第2四半期	133,454	82,894	61.7	3,510.31
23年5月期	141,457	79,253	55.7	3,325.66

(参考) 自己資本　24年5月期第2四半期　82,352百万円　23年5月期　78,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	31.00	—	44.00	75.00
24年5月期	—	37.50			
24年5月期(予想)			—	37.50	75.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年5月16日～平成24年5月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	313,823	4.8	16,552	5.0	17,308	4.8	8,921	13.2	376.37

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期2Q	23,710,934 株	23年5月期	23,706,734 株
② 期末自己株式数	24年5月期2Q	250,672 株	23年5月期	2,463 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期2Q	23,638,635 株	23年5月期2Q	23,703,918 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化により上記数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成23年５月16日～平成23年11月15日）における経済情勢は、東日本大震災の影響により依然厳しい状況にあるものの、企業の生産活動など一部においては緩やかに持ち直しの動きがみられました。しかしながら、欧州の通貨危機などによる円高の進行をはじめ景気の先行き不透明感は依然として強く、消費者の生活防衛意識による低価格志向の消費が続いております。

また、ドラッグストア業界においては、業種の垣根を越えた業務・資本提携やM＆A等、生き残りをかけた企業の統合・再編が加速しているほか、競合他社の出店や価格競争の激化、異業種からの医薬品販売への参入などにより、経営環境は一層厳しさを増しております。

このような状況のもと、当社グループではカウンセリングを主体とした接客サービスの徹底を引き続き行うとともに、昨夏の猛暑による夏物商材需要の反動減をカバーすべく、戦略的な営業施策を実施いたしました。具体的には、高品質で低価格のプライベートブランド商品「M's one」が好調に推移したことに加え、カウンセリング販売による利益確保、地域特性を踏まえた営業時間の見直しなどが功を奏しました。また、猛暑および電力使用制限等に伴い夏物商材が売上に貢献したほか、販促策や陳列の工夫などを引き続き行ったことから、既存店売上高も好調に推移いたしました。

出店につきましては、東北地区の被災地域において、地域の生活を支える社会インフラとしての役割を担うべく、新規出店および閉店店舗の再建などを行ったほか、ドミナント戦略に基づく地域集中出店を推進したことにより、期首より39店舗の新規出店と14店舗の閉店を実施し、当第２四半期末のグループ店舗数は直営店で975店舗となりました。

当社グループの出店・閉店の状況は次のとおり （単位：店舗）

	前期末店舗数	出店	閉店	純増	期末店舗数	うち調剤薬局
北海道	308	8	3	5	313	57
東　北	296	20	5	15	311	59
関東・甲信	300	8	6	2	302	80
中部・関西	11	1	－	1	12	2
中　国	35	2	－	2	37	15
直営店計	950	39	14	25	975	213

（その他ＦＣ加盟店舗　11店舗）

これらの結果、当第２四半期連結累計期間における業績は、売上高1,612億28百万円（前期比6.4%増）、営業利益96億61百万円（同18.5%増）、経常利益100億97百万円（同18.3%増）、四半期純利益55億15百万円（同24.2%増）となり、増収増益を達成することができました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第２四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて80億２百万円減少し、1,334億54百万円となりました。おもな要因は、前連結会計年度末の決済日が金融機関休業日であったことによる現金及び預金の減少等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて116億44百万円減少し、505億59百万円となりました。おもな要因は、前連結会計年度末の決済日が金融機関休業日であったことによる買掛金の減少等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて36億41百万円増加し、828億94百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は6.0ポイント増加し、61.7%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて74億64百万円減少し、281億19百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は、69億16百万円(前年同期61億20百万円使用)となりました。これはおもに、税金等調整前四半期純利益98億96百万円となりましたが、前連結会計年度末の決済日が金融機関休業日であったことにより仕入債務が120億87百万円減少したことと法人税等の支払が42億57百万円であったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期連結累計期間において投資活動の結果得られた資金は、５億20百万円(前年同期13億48百万円使用)となりました。これはおもに、新規出店に伴う差入保証金の支出８億68百万円、有形固定資産の取得６億50百万円等の支出がありましたが、定期預金の払戻による収入15億６百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、10億68百万円(前年同期10億74百万円使用)となりました。これはおもに、ＥＳＯＰ信託により11億20百万円短期借入を行い、自社の株式を10億30百万円取得したことと配当金の支払が10億44百万円あったこと等によるものであります。

(３) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年６月20日公表の通期の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年５月15日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年11月15日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,313	14,042
売掛金	7,449	6,818
有価証券	6,000	14,100
商品及び製品	36,815	39,277
原材料及び貯蔵品	13	8
繰延税金資産	1,574	1,803
短期貸付金	8,798	21
その他	4,675	3,914
流動資産合計	87,640	79,987
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,318	8,133
工具、器具及び備品（純額）	2,533	2,634
土地	2,080	2,062
その他（純額）	179	151
有形固定資産合計	13,111	12,982
無形固定資産		
のれん	11,964	11,414
ソフトウエア	387	330
その他	121	122
無形固定資産合計	12,474	11,868
投資その他の資産		
投資有価証券	4,610	4,696
繰延税金資産	354	395
差入保証金	21,317	21,692
その他	2,011	1,887
貸倒引当金	△63	△57
投資その他の資産合計	28,229	28,615
固定資産合計	53,816	53,467
資産合計	141,457	133,454

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年５月15日)	当第２四半期連結会計期間 (平成23年11月15日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	44,602	32,514
短期借入金	―	1,120
1年内償還予定の社債	100	―
1年内返済予定の長期借入金	30	30
未払金	5,886	5,158
未払法人税等	3,701	4,104
賞与引当金	2,336	2,100
役員賞与引当金	327	180
ポイント引当金	―	780
その他	1,319	650
流動負債合計	58,304	46,639
固定負債		
長期借入金	64	47
繰延税金負債	1,309	1,335
退職給付引当金	299	334
役員退職慰労引当金	15	15
資産除去債務	797	818
その他	1,413	1,368
固定負債合計	3,899	3,919
負債合計	62,204	50,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,629	6,638
資本剰余金	22,217	22,225
利益剰余金	47,655	52,127
自己株式	△9	△1,032
株主資本合計	76,492	79,959
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,339	2,392
その他の包括利益累計額合計	2,339	2,392
新株予約権	420	542
純資産合計	79,253	82,894
負債純資産合計	141,457	133,454

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年５月16日 至　平成22年11月15日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年５月16日 至　平成23年11月15日）
売上高	151,544	161,228
売上原価	109,738	116,029
売上総利益	41,806	45,199
販売費及び一般管理費	33,652	35,538
営業利益	8,154	9,661
営業外収益		
受取利息	51	57
受取配当金	34	26
備品受贈益	199	185
その他	116	179
営業外収益合計	401	448
営業外費用		
支払利息	10	8
割賦利息	0	－
その他	10	4
営業外費用合計	20	12
経常利益	8,535	10,097
特別利益		
投資有価証券売却益	4	0
貸倒引当金戻入額	3	－
新株予約権戻入益	115	－
その他	3	－
特別利益合計	126	0
特別損失		
固定資産除却損	50	47
固定資産売却損	－	5
災害による損失	－	22
リース解約損	－	2
減損損失	128	116
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	283	－
その他	26	6
特別損失合計	489	201
税金等調整前四半期純利益	8,172	9,896
法人税、住民税及び事業税	3,654	4,660
法人税等調整額	69	△280
法人税等合計	3,723	4,380
少数株主損益調整前四半期純利益	4,449	5,515
少数株主利益	7	－
四半期純利益	4,441	5,515

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成22年５月16日 至 平成22年11月15日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成23年５月16日 至 平成23年11月15日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,449	5,515
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△170	53
その他の包括利益合計	△170	53
四半期包括利益	4,278	5,568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,271	5,568
少数株主に係る四半期包括利益	7	―

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年５月16日 至　平成22年11月15日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年５月16日 至　平成23年11月15日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,172	9,896
減価償却費	1,085	1,053
減損損失	128	116
災害損失	－	22
のれん償却額	549	549
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	283	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2	△6
賞与引当金の増減額（△は減少）	△231	△236
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△117	△147
退職給付引当金の増減額（△は減少）	21	35
ポイント引当金の増減額（△は減少）	－	780
受取利息及び受取配当金	△85	△84
支払利息及び割賦利息	10	8
備品受贈益	△199	△185
固定資産除却損	50	47
固定資産売却損益（△は益）	－	5
投資有価証券売却損益（△は益）	△4	△0
新株予約権戻入益	△115	－
売上債権の増減額（△は増加）	982	630
たな卸資産の増減額（△は増加）	△334	△2,456
仕入債務の増減額（△は減少）	△11,946	△12,087
未払消費税等の増減額（△は減少）	△293	△445
その他	△494	△197
小計	△2,536	△2,700
利息及び配当金の受取額	46	48
利息の支払額	△10	△7
法人税等の支払額	△3,620	△4,257
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,120	△6,916
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△16	△1
定期預金の払戻による収入	－	1,506
有形固定資産の取得による支出	△711	△650
有形固定資産の売却による収入	－	12
ソフトウエアの取得による支出	△110	△47
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	7	4
貸付金の回収による収入	11	10
差入保証金の支出	△1,093	△868
差入保証金の返還	594	590
その他	△29	△35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,348	520

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年５月16日 至　平成22年11月15日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年５月16日 至　平成23年11月15日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	480	1,120
短期借入金の返済による支出	△17	－
長期借入金の返済による支出	△613	△16
社債の償還による支出	△100	△100
リース債務の返済による支出	△17	△17
新株発行による収入	－	12
自己株式の売却による収入	－	7
自己株式の取得による支出	△0	△1,030
配当金の支払額	△807	△1,044
その他	0	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,074	△1,068
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△8,543	△7,464
現金及び現金同等物の期首残高	26,680	35,583
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	36	－
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,173	28,119

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。